

# 肩関節：軟部組織と関節への 徒手的小アプローチ

講師：くつぬぎ手技治療院 沓脱正計先生

日時：2016年7月17日（日）9:30 - 17:00

会場：とがちプラザ

帯広市西4条南13丁目1番地



**限定  
10名**

日々の臨床に直接答える  
あなたに合わせた指導をするセミナーです

料金 10,000円（当日現金でお願いします）

対象 PT、OT、柔道整復師、整体師など  
資格問わず治療家の皆様

その他 本セミナーでは実技中心に行うため、解剖学  
や運動学につきましては、必要に応じ教科書程  
度の内容を予め復習なさっておいてください

## 講師紹介

くつぬぎ手技治療院 院長

按摩・マッサージ・指圧

著書&DVD 痛みの臨床に役立つ手技療法 ASTR



問い合わせ 下記Mailにて、名前と連絡先の記入をお願いします

[kitanochiryouka@gmail.com](mailto:kitanochiryouka@gmail.com) 富山

# 沓脱先生からの言葉

肩関節は肩甲上腕関節・肩鎖関節・胸鎖関節などの複合体によって構成されている。

肩関節の異常として、肩関節周囲炎・スポーツ障害・外傷後の拘縮などにより可動域制限や痛みを訴える相談が多くみられ、本セミナーではそれに対応した徒手的なアプローチを紹介する。

肩甲上腕関節に対して手技療法を適用する際には、筋筋膜と関節の制限を分けて用いた方が整理しやすい。軟部組織の制限に対してはその質的評価と、筋筋膜リリースやASTRを用いたアプローチを行う。関節の制限に対しては関節あそび検査を行い、どの方向に関節のすべり運動が損なわれているかを特定し、その方向に対して適切に関節モビライゼーションを実施することによって可動域を回復させ、肩甲上腕関節の運動機能向上を図る技法を紹介する。

鎖骨・肩甲骨では胸鎖関節、肩鎖関節の評価も重要だが、臨床的には周囲の軟部組織の制限による影響がより大きいと考えている。そこで本セミナーでは、肩甲胸郭関節を構成する鎖骨、肩甲骨の運動機能を改善するため、周囲の軟部組織に対するアプローチを紹介する。

普段の臨床の答えを見出す  
自分のテクニックに自信をもてる

きっかけとなるセミナーです